



フグには、どうして毒どくがあるの

フグの毒どくは、見分けみわけがむずかしい

フグを食たべて、その毒どくで人ひとが死しんだというニュースを、ときどき聞ききます。自分じぶんでつってきたフグを、料りょうり理りして食たべたりすると、こんな事じ故こが起おきます。フグは、きも(肝かん臓ぞう)や腸ちようなどの内ない臓ぞうに、毒どくをもっていることが多おほいものです。でも、フグの種しゅるい類れいによつて、毒どくがある部ぶ分ぶんがちがいますし、筋きん肉にくや皮ひふにも毒どくがあるフグもいます。また、同おなじ種しゅるい類れいのフグでも、とれた場ばしよ所うみ(海)や季き節せつによつて、毒どくの強つよさがちがいます。そのため、専せん門もんの資し格かくをもつた料りょうり理り人にんが料りょうり理りしたフグでなければ、食たべてはいけないことになっています。

フグは、自分じぶんの食たべた物もので毒どくをもつようになる

ほとんどのフグは、生うまれたばかりのときは、毒どくをもっていないといわれています。また、フグの毒どくは、海かい底ていの土つちの中なかや、海かい水すい中ちゆうにすんでいるバクテリつくアだが作つくり出だす毒どくと、同おなじであることがわかりました。そして、だんだんフグ毒どくのなぞがとけてきました。

フグは、肉にく食じよくの魚さかなで、海かい底てい近ちかくを泳およいでいます。そして、口くちに吸すいこんだ水みずを、海かい底ていにふきつけ、砂すなにもぐっている貝かいやゴカイなどを探さがし出だして、食たべます。プらんクとんや海かい底ていの小ちいさな生いき物ものを食たべている、貝かいやゴカイなどの体たい内ないには、えさといっしょに取りこんだバクテリつくアの毒どくがたまっています。このため、食たべ物ものから毒どくが、フグの体たい内ないにためられていくのです。同おなじ種しゅるい類れいのフグでも、毒どくを作つくり出だすバクテリおほアうみが多い海かいでとれたものは、体たい内ないに強つよい毒どくをもっていることが多おほいといえます。1ひとぴきずつのフグによつても、毒どくが多おほいものや少すくないものがあります。毒どくがなぜ、何なんのためにフグの体たい内ないにためられるのかは、わかっていません。(監かん修しゆ・安あ部べ 義ぎ孝こう)

